

令和7年8月22日（金）
熊本県農業経営アドバイザー連絡協議会「勉強会」

熊本県における みどり認定の状況について

熊本県農業技術課
みどりの農業推進班



未来の「食」を守るために「みどりの食料システム戦略」を実現!

私たちの「食」は、調達から生産、加工・流通、消費まで、さまざまな関係者のつながりによって成り立っています。これを一つの大きなシステムととらえ、「食料システム」と呼んでいます。未来の食を守るため、環境にやさしく、長く続けられる食料システムをつくるのが大切です。そこで農林水産省は2050年までに達成したい目標を定めました。それが「みどりの食料システム戦略」です。
※「みどり」という言葉には、環境にやさしいという意味が込められています。

食を取り巻く環境の変化

地球温暖化による自然災害
生産者の高齢化や減少
生物多様性の低下

N 外産率
P 外産率
K 外産率

13 国連(SDGs)
EU
アメリカ

化学肥料の原料は輸入に依存
海外でも対策が進んでいる

食を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで食料システムのそれぞれの段階で環境への負荷を減らし、農林漁業・食品産業の持続的な発展と、食料の安定的な供給を目指します。



それぞれの段階で環境への負荷を減らします。

農林漁業・食品産業の持続的な発展と食料の安定供給を実現

農業も環境に負荷をかけています! /

農業生産でも温室効果ガスを排出

化学肥料は原料の大部分を輸入に依存

農薬や化学肥料を使いすぎると、環境負荷が大きい

みどりの食料システム戦略 2050年までの目標

温室効果ガス削減

農林水産業のCO₂ゼロエミッション化 (CO₂排出量を実質ゼロへ)

農業機械等の電化・水素化

石油などの化石燃料を使用しない園芸施設へ

農村等への再生可能エネルギーの導入

環境保全

化学農薬使用量を50%低減 (リスク農薬)

化学肥料使用量を30%低減

有機農業に取り組み面積を100万haに拡大

環境にやさしい農業に取り組んで「みどり認定」を受けましょう!

「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた法制度「みどりの食料システム法」の認定制度がスタートしました。環境にやさしい農業に取り組むことで、認定を受けられます。

「みどり認定」を受けるメリット

- 設備投資を行う際の所得税・法人税の特別償却ができます。
- 国の補助事業で、採択が優先されます。
- 日本政策金融公庫の農業改良資金などの貸し付けを受けられます。
- くまもとグリーン農業のマークを使用できます。

「みどり認定」を受けるには?

環境負荷の低減に取り組む5年間の計画書を作成し、市町村へ申請。県の認定を受けることができます。

1 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減

- 有機農業の取り組み
- 堆肥の使用
- 農薬だけに頼らない病害虫・雑草の防除(IPM) など

2 温室効果ガスの排出削減

- 省エネ設備や機械の導入、作型・品種の転換
- 水田での秋耕・中干しの期間延長 など

3 農林水産大臣が定める事業活動

- バイオ炭の農地への施用
- 農業用プラスチックの排出削減 など

※1, 2, 3のうら、いずれかに取り組む計画書を作成します。

「みどり認定」の申請

個人でも団体でも申請できます!

農業者 計画書を作成

市町村へ申請

熊本県より認定

認定通知を発送

詳しくはこちらから

「熊本 みどり認定」で検索!

全国及び熊本県みどり認定状況について①

1 全国及び都道府県別認定状況

みどりの食料システム法に基づく生産者の認定状況※（令和7年7月末）

都道府県	認定者数（経営体数）	都道府県	認定者数（経営体数）
北海道	305	滋賀県	47
青森県	106	京都府	399
岩手県	3,901	大阪府	23
宮城県	380	兵庫県	108
秋田県	223	奈良県	90
山形県	105	和歌山県	670
福島県	239	鳥取県	67
茨城県	603	島根県	315
栃木県	1,205	岡山県	37
群馬県	456	広島県	32
埼玉県	105	山口県	259
千葉県	155	徳島県	272
東京都	11	香川県	64
神奈川県	138	愛媛県	1,268
山梨県	150	高知県	601
長野県	131	福岡県	12
静岡県	304	佐賀県	57
新潟県	185	長崎県	307
富山県	437	熊本県	1,555
石川県	837	大分県	61
福井県	11,095	宮崎県	106
岐阜県	55	鹿児島県	389
愛知県	210	沖縄県	323
三重県	139	合計	28,537

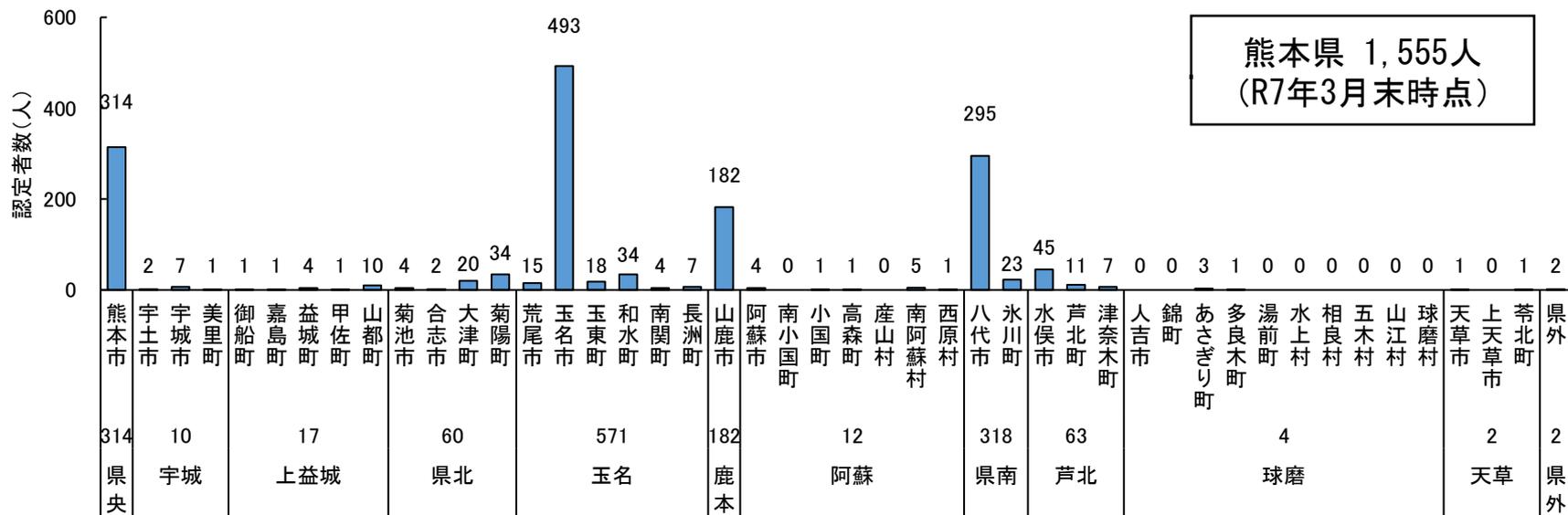
熊本県全国3位
1位 福井県
2位 岩手県

※みどりの食料システム法に基づき、環境負荷低減事業活動実施計画又は特定環境負荷低減事業活動実施計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた者。

農水省HPより参照

全国及び熊本県みどり認定状況について②

2 市町村別認定状況 (R7年3月末)



3 業種別認定状況 (R7年3月末)

業種	認定者数(人)
耕種農業	1,553
畜産業	2
林業	0
漁業	0
計	1,555

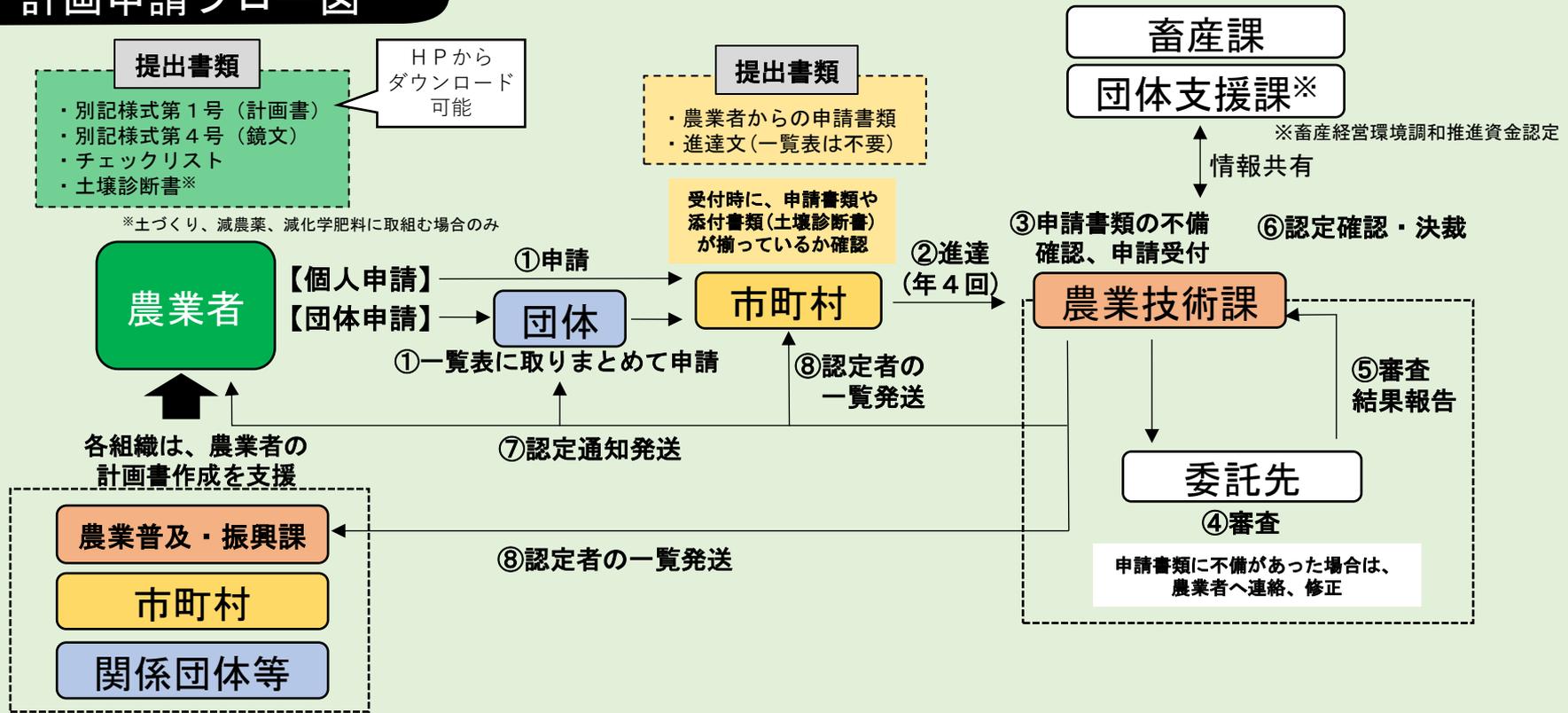
4 事業活動類型ごとの認定状況 (R7年3月末)

事業活動の類型	認定数(件)	現状値(ha)	目標値(ha)
①土づくり及び化学肥料・化学農薬の使用低減	1,317	1,085	1,257
②温室効果ガスの排出削減	237	69	99
③農林水産大臣が定める事業活動	12	57	64
計	1,566	1,211	1,420

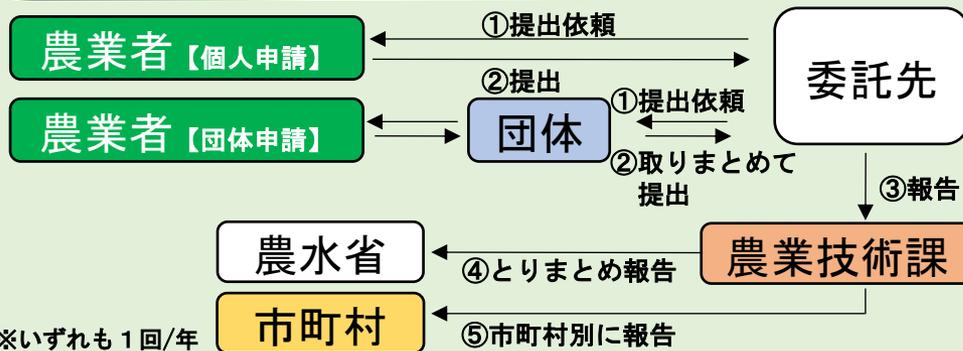
「みどり認定」の計画申請から認定までの流れ

【耕種・畜産部門】

計画申請フロー図



実施状況確認フロー図



法律記載事項（一部抜粋）

第五章 雑則

（報告の徴収）

第四十六条 都道府県知事は、**認定農林漁業者に対し、認定計画の実施状況について報告を求めることができる。**

2 主務大臣は、認定基盤確立事業者に対し、認定基盤確立事業実施計画の実施状況について報告を求めることができる。

第六章 罰則

第五十一条 第四十六条第一項又は第二項の規定による**報告をせず、又は虚偽の報告をしたときは、その違反行為をした者は、三十万円以下の罰金に処する。**

「みどり認定」の申請受付期間等について

申請受付時期と認定日



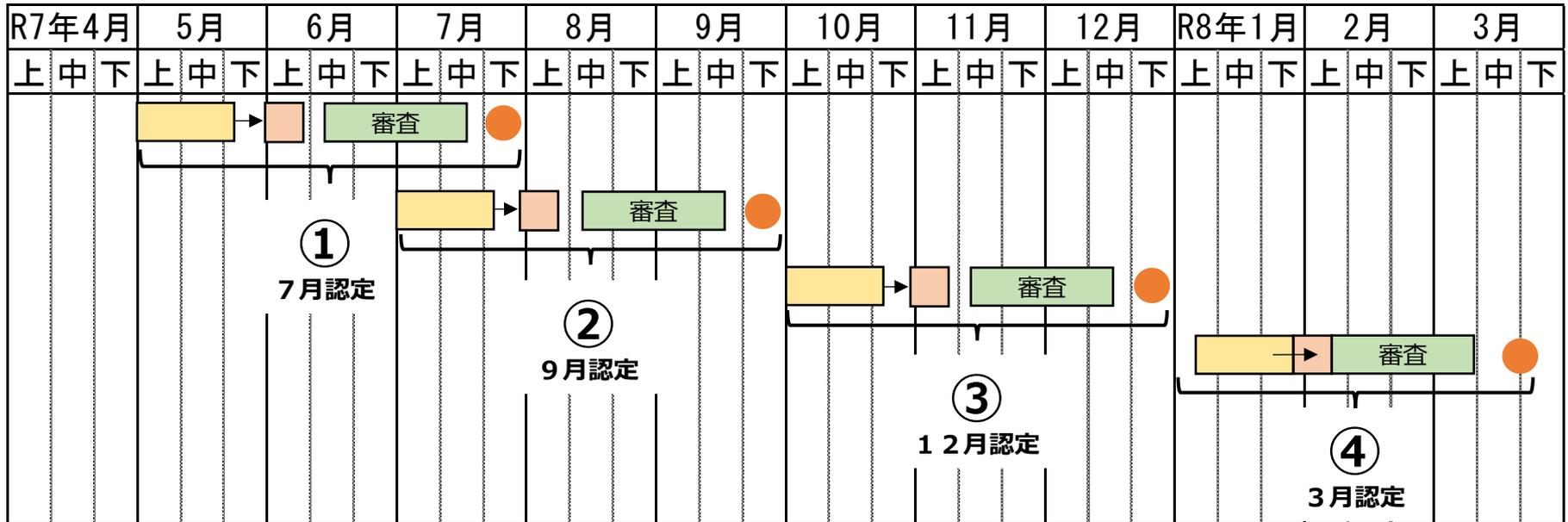
市町村申請受付期間



県申請受付期間



県認定



	申請受付期間(市町村)	申請受付期間(県)	認定日の目安
①	終了 5月1日～5月22日	5月29日～6月9日	7月下旬
②	終了 7月1日～7月22日	7月29日～8月7日	9月下旬
③	10月1日～10月22日	10月29日～11月7日	12月下旬
④	1月6日～1月27日	1月28日～2月6日	3月下旬

みどり認定のメリット

①資金の貸付

- 農業改良資金の貸付（償還期間10年→12年）
- 畜産経営環境調和推進資金の貸付 等

②みどり投資促進税制

- **化学肥料・化学農薬の使用低減に必要な設備等を新たに導入**した場合に、特別償却（機械等32%、建物等16%）の適用を受けられる

対象者：青色申告を行う農業者又は団体（構成員も対象）

対象設備等（機械と一体的に整備する建物も対象）：

- ①取得価額の合計が100万円以上であること
- ②農水省HPに掲載された**対象機械**であること
- ③計画認定後、令和8年3月31日までに導入したもの

〈対象設備のイメージ〉



野菜用畝立同時局所施肥機



マニユアスプレッター



ラジコン草刈り機



自動灌水施肥装置（環境制御装置）

特別償却のイメージ（700万円の機械（耐用年数7年）を導入した場合）



✓計画申請と機械導入のタイミングに注意
計画認定前の機械等導入は税制適用外



③国庫補助金の優先採択（一部抜粋）

○対象事業

- ・みどりの食料システム戦略推進交付金
 - ・グリーンな栽培体系加速化事業
 - ・有機農業拠点創出・拡大加速化事業
 - ・有機転換推進事業（みどり認定が要件）
- ・強い農業づくり総合支援交付金
- ・産地生産基盤パワーアップ事業

④くまもとグリーン農業マークの利用

- 「くまもとグリーン農業マーク※」を利用可能

※別途「生産宣言」が必要

- ↳「生産宣言」を行うことで
地下水と土を育む農業育成
事業（県単）が活用可能



くまもとグリーン農業

- 「くまもとグリーン農業」とは、土づくりを基本に、化学肥料や化学合成農薬を慣行栽培より減らした、**環境にやさしい農業のこと**。
- 「くまもとグリーン農業」の取組みを広げるため、グリーン農業に取り組む生産者は「**生産宣言**」を、グリーン農業の役割を理解し、販売・購入により応援する消費者は「**応援宣言**」をしていただくことで、県民運動として進めています。
- くまもとのきれいで豊かな地下水と自然環境を守るため、生産者だけでなく消費者のみなさんにも積極的な参加をお願いしています。

【取組制度】

- ・JAS法有機農産物
- ・有作くん100
- ・有作くん
- ・特別栽培農産物
- ・**みどり認定**



生産宣言

くまもとグリーン農業農産物を
生産します!



【農家などの生産者】

くまもとグリーン農業
表示マークを
使用できます



【くまもとグリーン農業農産物】

応援宣言



くまもとグリーン農業農産物を
買って応援します!

くまもとグリーン農業
表示マークを
目印に購入



【レストランなどの企業や一般家庭の消費者】

くまもとグリーン農業農産物を
使って応援します!

くまもとグリーン農業
応援マークを
使用できます

